

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が第16週に3,390例、第17週に3,101例あり、本年の累積報告数は88,130例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)**の報告が1例(40歳代男性)(第14週追加報告分)あり、本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(70歳代女性)あり、本年の累積報告数は11例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が第16週に1例(20歳代女性)、第17週に5例(男性2例(30歳代1例, 40歳代1例), 女性3例(20歳代2例, 30歳代1例))(第15週追加報告分1例を含む)あり、感染経路はいずれも性的接触です。本年の累積報告数は32例となりました。
京都市では、平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を予約制で実施しています。詳細については、下記のホームページをご覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html>
- ・ **小児科定点把握感染症**は、前週までと大きな変化はなく、発生数は低く推移しています。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市では第17週、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)が3,101例報告されました。3,735例が報告された第14週から3週連続で減少していますが、例年、長期休暇を含む週は医療機関等の休業により報告数が減少するため、評価には注意を要します。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

【2022年第16週】

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 68例(肺結核 36例, その他結核 16例, 潜在性結核感染者 16例)うち喀痰塗抹陽性 12例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 3,390例【1月以降の累積報告数85,029例】**
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 27例】

【2022年第17週】

- ・ **新型コロナウイルス感染症 3,101例【1月以降の累積報告数88,130例】**
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例【1月以降の累積報告数11例】
- ・ 五類:梅毒 5例【1月以降の累積報告数 32例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

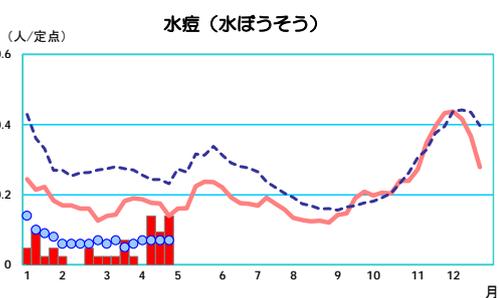
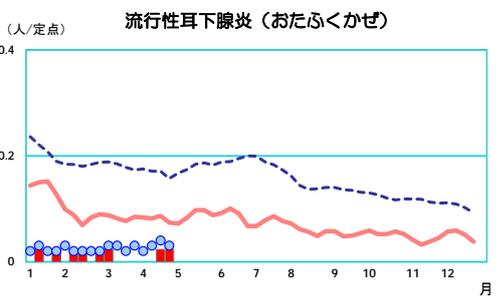
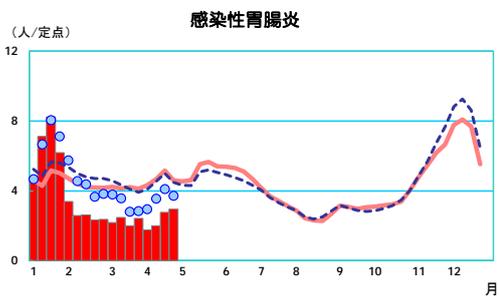
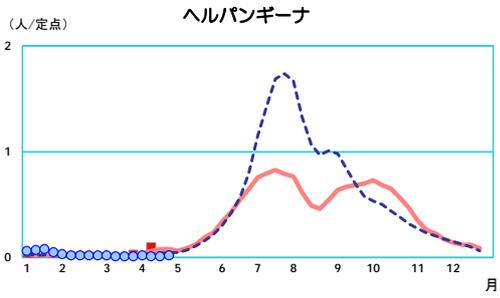
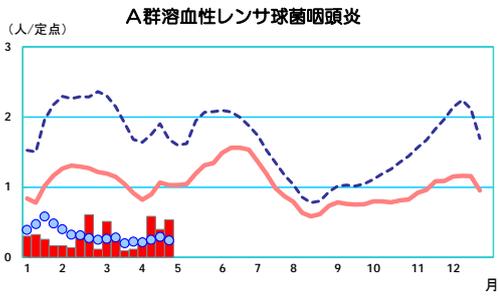
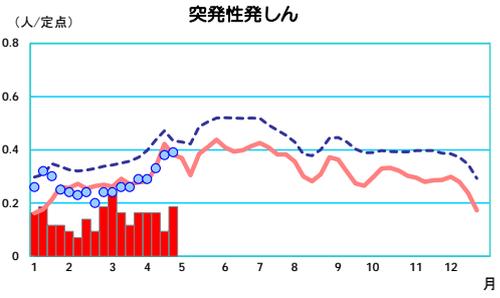
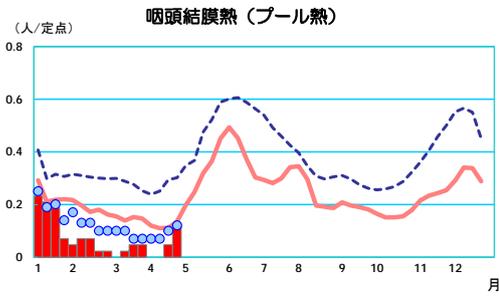
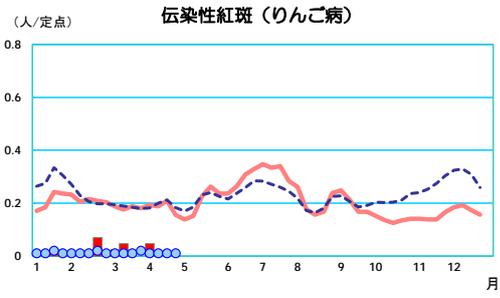
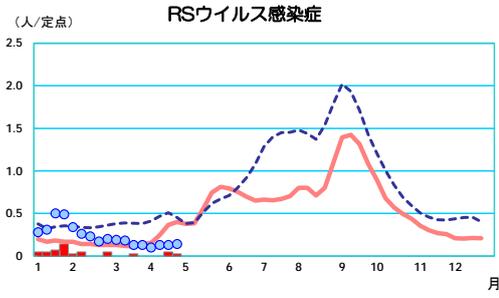
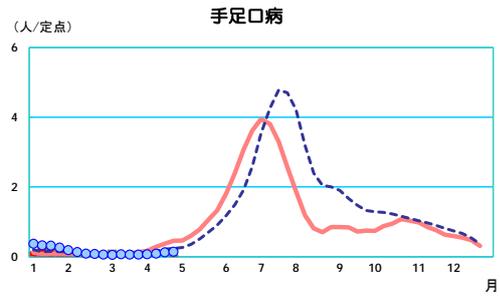
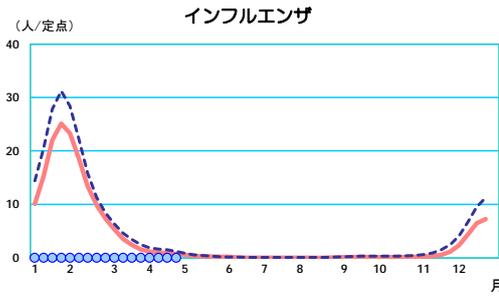
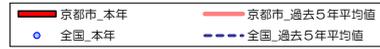
定点	【2022年 第16週】			【2022年 第17週】		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0	0	インフルエンザ	0	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.77	119	① 感染性胃腸炎	2.95	127
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.40	17	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	23
	③ 水痘	0.09	4	③ 突発性発しん	0.19	8
	③ 突発性発しん	0.09	4	④ 水痘	0.14	6
	⑤ RSウイルス感染症	0.05	2	⑤ 咽頭結膜熱	0.12	5
	⑤ 咽頭結膜熱	0.05	2	—————	—————	—————
眼科	流行性角結膜炎	0	0	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

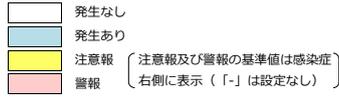
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2022年5月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

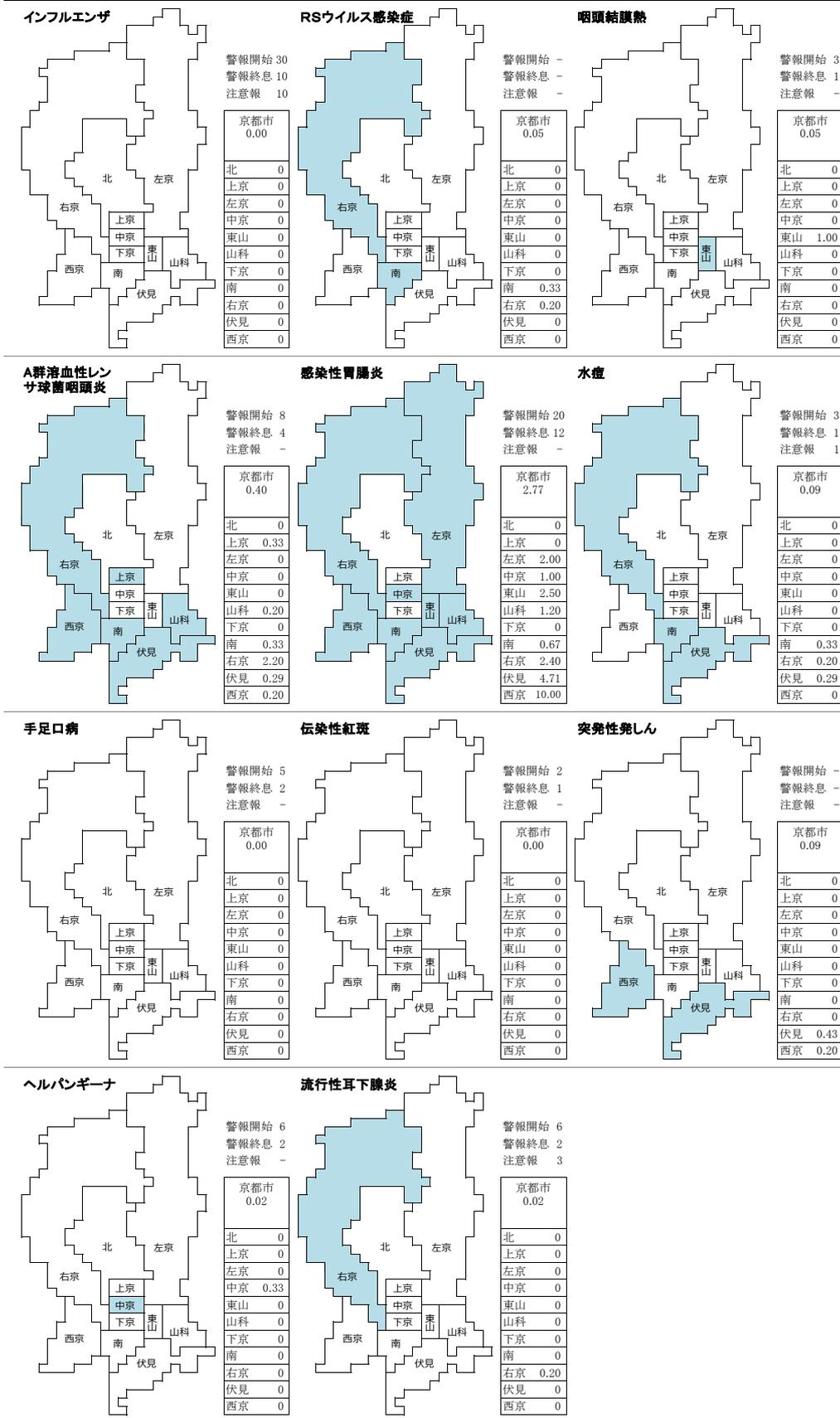
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



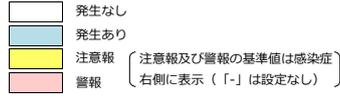
インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年 第16週】



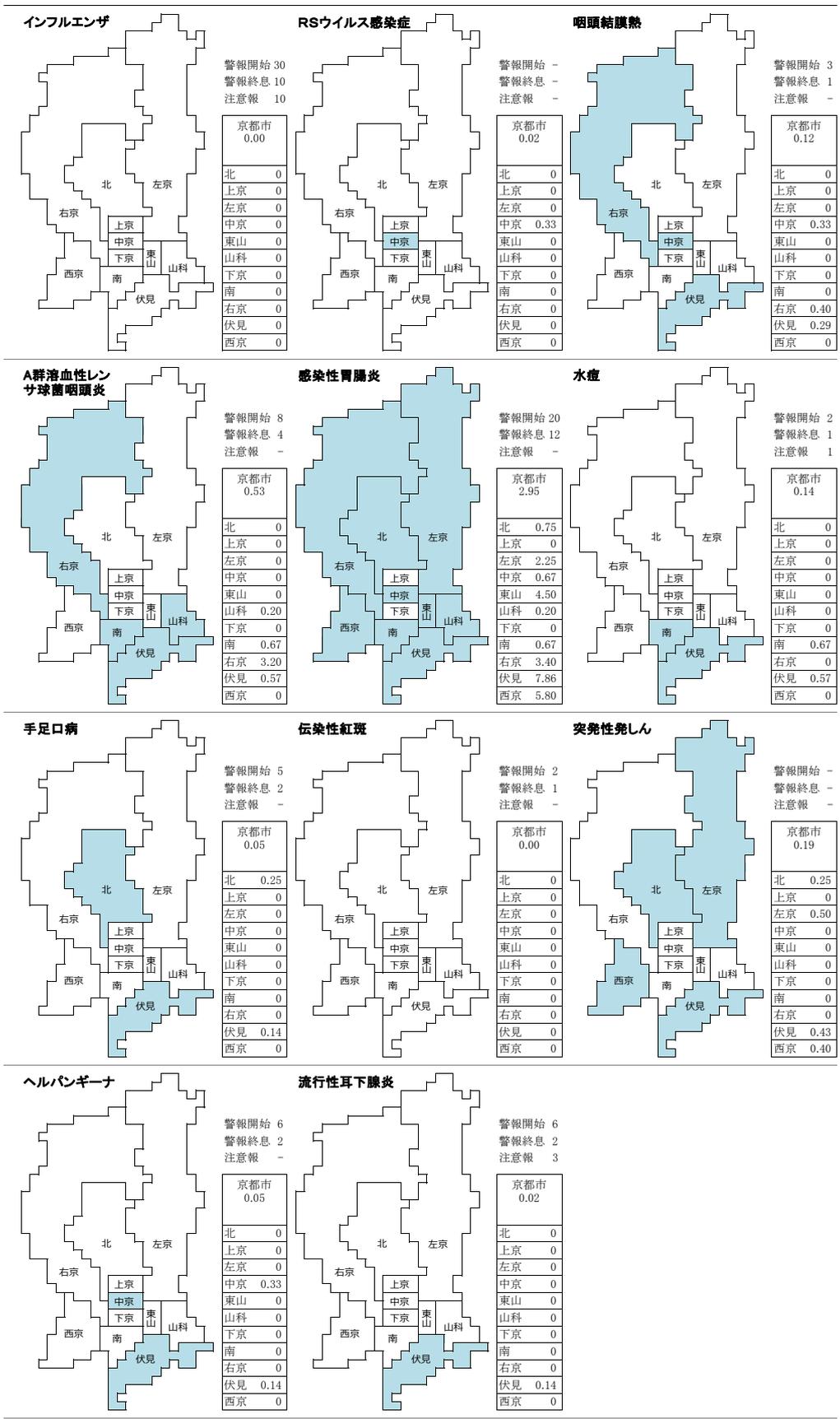
※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年 第17週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
 規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第17週(4月25日～5月1日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市では第17週、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)が3,101例報告されました。3,735例が報告された第14週から3週連続で減少していますが、例年、長期休暇を含む週は医療機関等の休業により報告数が減少するため、評価には注意を要します。

これまでに大規模な流行があった8自治体及び全国における人口10万人当たり報告数を本市と比較すると、大まかに言って正月やゴールデンウィーク、お盆にあたる1月、5月、8月頃に流行が起こる傾向が見られます(図)。緊急事態宣言やまん延防止措置によって人の活動性が変わることがあるため一概には言えませんが、人の往来が増える長期休暇の前後には流行が起こる恐れがあり、注意が必要です。

流行株の変遷やワクチン接種により死亡する感染者の割合は減少していますが、感染者数が大幅に増えているため、死者数は相対的に増加しています。そればかりではなく、流行により医療資源が逼迫すれば、COVID-19のみならず、通常であれば救える命も取りこぼすことになりかねません。自分だけでなく大切な方を守るためにも、ひとりひとりが感染予防に努めることが重要です。引き続き、手洗いやマスクの着用、三密を避けることを心がけるとともに、ワクチン接種にもご協力ください。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

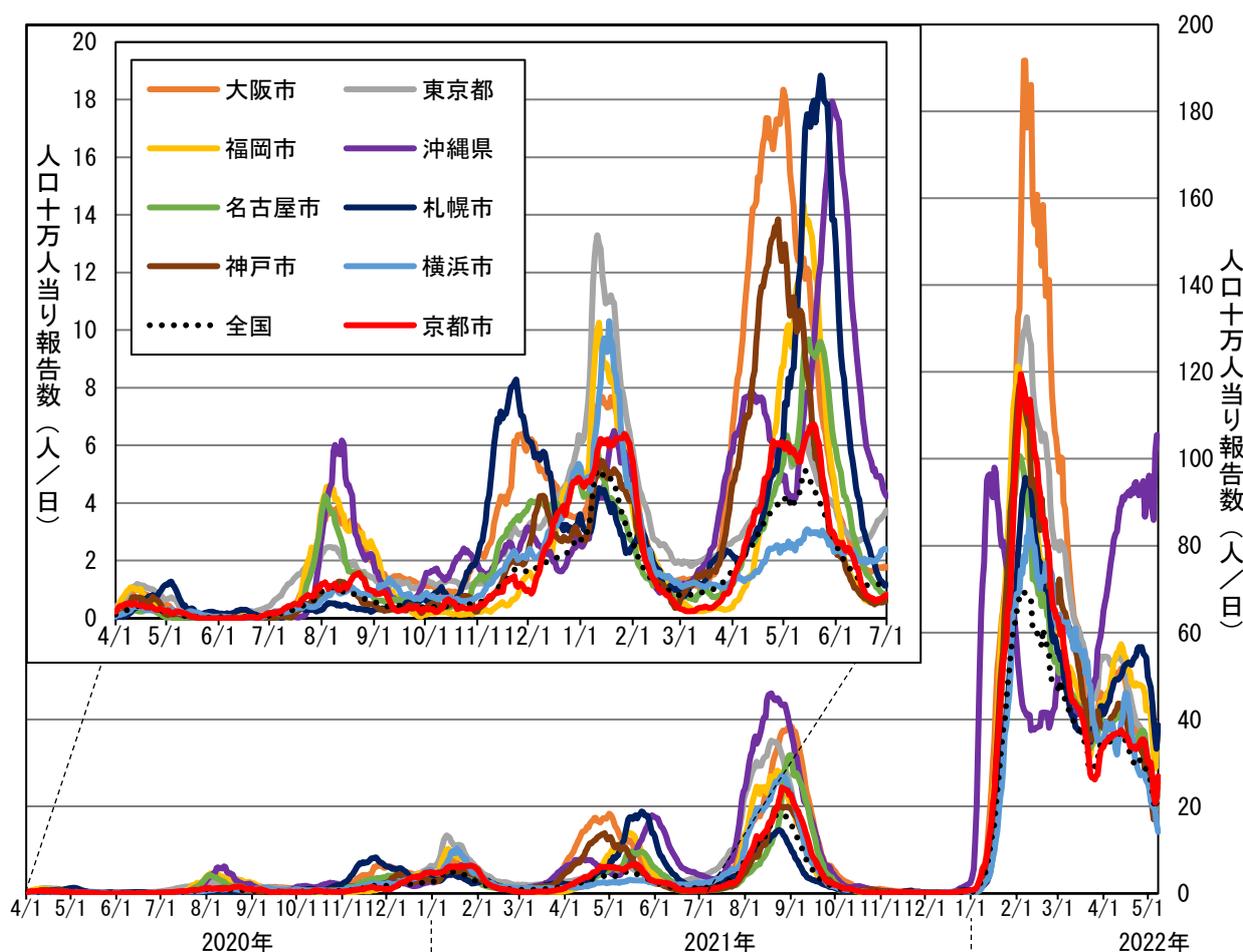


図. 各自治体におけるCOVID-19の人口10万人当たり報告数*

*図中左上には2020年4月～2021年6月までを拡大して示した。

(*) 以下の各自治体または厚生労働省の広報情報を基に作図(2022年5月6日時点)。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000502869.html>

<https://catalog.data.metro.tokyo.lg.jp/dataset/0000104000000000068>

https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/coronataisaku/health/jirei/cohs_.html

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/kansen/soumu/press/20200214_covid19_pr1.html

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>

<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/flkansen/2019n-covhassei.html>

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/covid19.html>

<https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第16週

疾病,行政区別報告数

2022年4月18日～2022年4月24日

データ入手日:2022年4月28日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	1	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	1	-	11	12	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	2	33	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1	50	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	2	2	17	119	4	-	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	1.00	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.20	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	0.33	-	0.33	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	0.20	-	2.20	2.40	0.20	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.29	4.71	0.29	-	-	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.20	10.00	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.05	0.05	0.40	2.77	0.09	-	-	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第16週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年4月18日～2022年4月24日

データ入手日:2022年4月28日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17	-	2	2	4	1	-	2	1	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		119	1	12	19	7	12	9	6	9	7	7	3	10	4	13	-	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.40	-	0.05	0.05	0.09	0.02	-	0.05	0.02	0.07	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.77	0.02	0.28	0.44	0.16	0.28	0.21	0.14	0.21	0.16	0.16	0.07	0.23	0.09	0.30	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.09	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第17週

疾病,行政区別報告数

2022年4月25日～2022年5月1日

データ入手日:2022年5月6日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-					
中京	-	1	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-					
右京	-	-	2	16	17	-	-	-	-	-	-	-	2					
伏見	-	-	2	4	55	4	1	-	3	1	1	-	-					
西京	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	-	-					
京都市計	-	1	5	23	127	6	2	-	8	2	1	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.75	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	2.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-					
中京	-	0.33	0.33	-	0.67	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	4.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	0.67	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-					
右京	-	-	0.40	3.20	3.40	-	-	-	-	-	-	-	2.00					
伏見	-	-	0.29	0.57	7.86	0.57	0.14	-	0.43	0.14	0.14	-	-					
西京	-	-	-	-	5.80	-	-	-	0.40	-	-	-	-					
京都市計	-	0.02	0.12	0.53	2.95	0.14	0.05	-	0.19	0.05	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第17週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年4月25日～2022年5月1日

データ入手日:2022年5月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	3	3	4	3	1	1	1	1	1	1	1	-	1	3					
感染性胃腸炎		127	1	12	15	13	12	16	6	4	5	4	1	15	6	17						
水痘		6	-	1	1	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	3	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.53	-	0.07	0.07	0.09	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	0.02	0.07					
感染性胃腸炎		2.95	0.02	0.28	0.35	0.30	0.28	0.37	0.14	0.09	0.12	0.09	0.02	0.35	0.14	0.40						
水痘		0.14	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.19	-	0.07	0.09	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第17週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年5月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	1	-	-	-	2	1
咽頭結膜熱	2	2	-	-	2	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	5	10	25	17	23
感染性胃腸炎	86	104	76	86	119	127
水痘	3	1	-	6	4	6
手足口病	-	1	-	-	-	2
伝染性紅斑	-	-	2	-	-	-
突発性発しん	5	7	7	7	4	8
ヘルパンギーナ	1	3	1	6	1	2
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	4	1	1	-	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	103	127	97	131	150	177

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	0.02	-	-	-	0.05	0.02
咽頭結膜熱	0.05	0.05	-	-	0.05	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.09	0.12	0.23	0.58	0.40	0.53
感染性胃腸炎	2.00	2.42	1.77	2.00	2.77	2.95
水痘	0.07	0.02	-	0.14	0.09	0.14
手足口病	-	0.02	-	-	-	0.05
伝染性紅斑	-	-	0.05	-	-	-
突発性発しん	0.12	0.16	0.16	0.16	0.09	0.19
ヘルパンギーナ	0.02	0.07	0.02	0.14	0.02	0.05
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.40	0.10	0.10	-	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.47	3.26	2.33	3.12	3.49	4.27

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。